

10月25日正午必着

明石春浦先生書

機動的弓影疑爲蛇蝮、寢石視爲伏虎。此中渾是殺氣。
 念息的石虎可作海鷗、蛙聲可當鼓吹。觸處俱見真機。

（菜根譚）

機きの動うごくものは、弓影も疑うたがいて蛇蝮だかつと為なし、寢石ねいしも視みて、伏虎ふくこと為なす。此この中渾ちゆうんて是れ殺氣ころしきなり。念ねんの息いきむものは石虎いしこも海鷗かいおうと作なす可べく、蛙聲あせいも鼓こ吹ふに当あつ可べし。触ふるる処ところ俱ともに真機しんきを見る。

（書作で味わう菜根譚より）

雨宮春聲先生書

柚子の香のほのぼの遠い山なみ

雨宮春聲

柚子の香のほのぼの遠い山なみ（種田山頭火）



菅井松雲先生書

清波收潦日 華林鳴籟初
芙蓉露下落 楊柳月中疏

雨水もひいて秋の清澄な流れとなり、美しい林に初めて風が吹き抜けて木々を鳴らすとき、芙蓉の花は露をふくんで散り、楊柳の葉は月の光に照らされてまばらとなる。

条幅部創作課題

三種の詩文から一種を選択して出品のこと。

秋老年豊

秋老いて年豊かなり

秋が深まり、穀物が豊かに実る。

蒼梧風起愁雲暮
高峽晴開落照多

(朱彝尊)

蒼梧風起こつて愁雲暮れ
高峽晴開いて落照多し

洞庭湖の蒼梧に風が起こつて憂いを含んだ雲が漂う。
高峽は晴れて夕日が美しい。

懷鳴秋先生之京 (郭 厘)

鳴秋先生が京に之くを懷う 郭 厘

澄江晚悠悠 離思杳難極
西風鴻鴈飛 我憶鳴秋客
遠樹帶餘暉 前川起寒色
即此待歸舟 沙頭埽苔石

澄江晚に悠悠たり 離思杳として極め難し
西風鴻鴈飛び 我は憶う鳴秋の客
遠樹余暉を帯び 前川寒色起こる
即ち此れ歸舟を待つ 沙頭苔石を埽う

見の近く立つや香具山 ころこ雲あまねき空の月に明るき

(窪田 空穂)

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

林土寺 冒嵐歸

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

冒嵐歸
堅寺

隸書

冒嵐歸
堅寺

明石春浦先生書

草書

冒嵐歸
堅寺

行草書

冒嵐歸
堅寺

おくぶかい住居、山中のつたかずらをいとおしむそのころ 高雅に隠遁されるが、
その徳によって綱紀秩序は正しく行われる
秋の鷹は下りたって、鳥どもは飛び散じ 春の草は生い茂り、人は閑静にすごす
山気をかきわけて田舎の寺に帰り 官印をしまつて山中の城を出る
今やここ新安郡は 君ゆえに水がいつそう清らかなことだ

題三元録事所居 劉長卿

幽居蘿薜情

高臥紀綱行

鳥散秋鷹下

人閑春草生

冒嵐歸野寺

收印出山城

今日新安郡

因君水更清

元録事が所居に題す 劉長卿

劉長卿

幽居して 蘿薜の情あり

高臥して 紀綱行わる

鳥散じて 秋鷹下り

人閑にして 春草生ず

嵐を冒して 野寺に帰り

印を収めて 山城を出ず

今日 新安郡

君に因つて 水更に清し

條幅部半紙部臨書課題



惡者受其誅、則國安而衆善到矣。一合逆者、則百合先、一惡施者、則百惡結。令施于順民、刑加于凶人、則



令行而不怨、羣下附親矣。有清白之識者、不可以爵祿得。有守節之識者、不可以威刑脅。故明君求臣、必

10月25日正午必着



清趙之謙・「三略」八屏（その五・六）

道光九年（一八二九）七月九日浙江省紹興に生まれ、光緒十年（一八八四）五十六歳で没した。はじめ字を益甫、冷君と号し、三十代になつて字を搗叔、悲盞・无悶・愍察などと号した。

町の有力な商家の二男として生まれ、幼い頃から学問に目覚め、その才能を發揮していたが、家の没落、妻子の死という悲劇に見舞われた。科挙の推薦試験に合格していた彼は、三十五歳の時に進士の試験を受ける為に北京に上ったが、そこで出会った多くの人々と豊富な金石書画に触れ、すぐさまその道にのめり込んでいった。応試は二の次になり、五度の受験も結局及第することは出来なかった。

彼の才能は書画篆刻に發揮されたが、書は晩年に熟境に到った。応試に必須であった顔法に始まり、北魏の刻石に触発され、さらに包世臣の書論における逆入平出の法に心酔し、独自の解釈を加えて彼の書法は完成していった。

今号は八屏のうちの五・六幅めを掲載。視覚的動勢を与えながらも、終始一貫した分間の見事さを味わいたい。（春濤）



守節有るの識者は、威刑を以て脅かすべからず。故に明君の（臣を）求むるに、

10月25日正午必着

教育部毛筆



の 野
ぎく 菊

中学一年

雨宮春聲先生書



く る 桃
胡桃

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



げん
現

だい
代

小学五年

藤井良泰先生書



じ
磁

しゃく
石

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



かつ りょく
活 力

小学三年

細谷春誠先生書



ぶん げい
文 芸

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



や

き

小学一年・幼年

明石幸子書



こう
広

だい
大

小学二年

藤田幸春先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

き庭では虫が鳴く	空には星がかがや
----------	----------

小学五年

ゆめを實現させる	科学の発達は人間の
----------	-----------

小学六年

くと信じていた	あなたにこの指が届
---------	-----------

中学

に清らかに光る	秋の露は白玉のよう
---------	-----------

一般(級位)

わが身ひとつの秋にはあらねど	月みればちかちかのささやけ
----------------	---------------

一般(段位)

月みればちかちかのささやけ
 わが身ひとつの秋にはあらねど
つぎ かな みがみひとつの 秋にはあらねど (大江千里)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	ち
な	ゆ
が	う
	り
さ	っ
い	ぶ
た	の

幼年

ろ	木
に	の
な	は
り	が
ま	
し	き
た	い

小学一年

目	う
	さ
な	ぎ
が	の
い	
み	赤
み	い

小学二年

し	夕
ん	べ
が	
あ	大
っ	き
た	な
	地

小学三年

に	学校
に	に通
う	道
ぞ	い
い	
お	
寺	
が	
あ	
る	

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

しらのあとなき
かたにゆく舟も
風ぞたよりの
しるべなりける

しらのあとなき
かたにゆく舟も
風ぞたよりの
しるべなりける

しらのあとなき
かたにゆく舟も
風ぞたよりの
しるべなりける



岩本景楓先生書

志 しら浪のあとなき
幾 閑多二
毛 舟も
かぜ 風ぞたよりの
處堂餘里能
部奈利介流
（古今集）